



2月 院内感染対策ニュース 2月

第78号 2020年2月20日
院内感染対策委員会

新型コロナウイルスによる肺炎が流行、 咳エチケット・飛沫・接触感染対策できていますか？

1 2月末に中国で発生した新型コロナウイルス肺炎は日本でも感染者が数人発生しました。この新型コロナウイルスは2月1日より指定感染症に認定されています。普段から咳エチケットや飛沫・接触感染対策できていますか？感染予防策についておさらいしてみましょう。

新型コロナウイルスとは

発熱や上気道症状を引き起こすウイルスでSARSやMERSと同じ種類に属すが一般の風邪の原因のウイルスでもあります。

症状	潜伏期間	感染経路	治療	予防策
発熱・咳・関節痛 呼吸苦・倦怠感	1～14日 ただしまだ不明	飛沫・接触感染	対症療法	手洗い・うがい・手指消毒・ マスク着用・咳エチケット

飛沫感染・接触感染対策とは

飛沫感染は咳やくしゃみ、痰などに含まれるウイルスが人の口・鼻・眼などの粘膜に付着することにより感染します。

接触感染は、ウイルスが付着した場所や物に触れることで手を介して人に感染します。

ウイルスは数時間環境で生存しますので、日頃から手洗い、手指消毒を習慣にしましょう。マスクの着用も有効です。マスクを外すときは表面に触れず、ひもの部分を持って捨ててください。外した後は手指消毒または手洗いをしましょう。この方法はインフルエンザ予防と同じです。

咳エチケットを実践しましょう

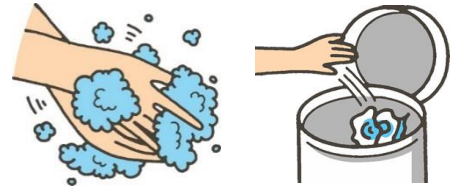
咳エチケットとは患者や面会者、医療従事者などすべての人が咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある場合行う対策です。



咳やくしゃみができるときは、マスクを着用する。

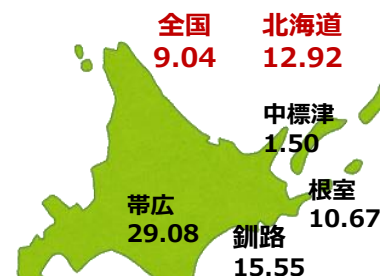


マスクをしていないときは、ティッシュペーパーなどで口と鼻を覆うが、ティッシュペーパーもない場合は肘で口・鼻を覆う。



分泌物が付着したティッシュペーパーは直接ゴミ箱に廃棄し、その後手指衛生を行う。手指衛生とは手洗いや手指消毒のことをさします。

インフルエンザ情報 2/3～9



インフルエンザの発生状況です。警報は解除されましたが注意報が発令されました。インフルエンザBが増えています。

いつでもどこでも手洗い・手指消毒・マスクの着用など予防対策を取りましょう。また、よく寝て、よく食べて体調を整えましょう。

新型コロナウイルス感染症が話題となっていますが、誤った情報が出回っていることもあります。厚労省や保健所の情報を必ずご確認ください。日頃からマスク着用、外出後の手洗い、人ごみは極力避ける、人の手がたくさん触れる場所に触った後は手洗いや手指消毒をする等の基本的な行動が重要です。厚労省では電話相談窓口が開設されています。ご不明な点は厚労省又は地域の保健所へご相談下さい。くれぐれも、直接医療機関へ赴くことはお控え下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

